3．キャッシュ・フロー計算書関係

⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	4,157,739千円
定期預金	△1,400,000千円
資金期末残高	2,757,739千円

⑵　重要な非資金取引

①　現物寄附による資産の取得	1,226,885千円
現物寄附による少額備品の取得	331,456千円
②　ファイナンス・リースによる資産の取得	50,873千円

4．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額のうち国からの出向職員に係る額	1,647千円

5．減損損失関係

⑴　松風留学生会館

①　減損の兆候が認められた固定資産の概要

用途：宿泊施設

種類：建物及び建物附属設備

場所：神奈川県横浜市青葉区松風台21―13

帳簿価額：80,412千円（建物66,298千円、建物附属設備14,113千円）

②　減損の兆候の概要

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しているため。

③　減損の認識に至らない根拠

現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。

⑵　梅が丘留学生会館

①　減損の兆候が認められた固定資産の概要

用途：宿泊施設

種類：建物及び建物附属設備

場所：神奈川県横浜市青葉区梅が丘17番

帳簿価額：59,848千円（建物50,608千円、建物附属設備9,239千円）

②　減損の兆候の概要

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しているため。

③　減損の認識に至らない根拠

現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。

⑶　駒場国際交流会館

①　減損の兆候が認められた固定資産の概要

用途：宿泊施設

種類：建物及び建物附属設備

場所：東京都目黒区駒場４―862―17

帳簿価額：254,689千円（建物187,875千円、建物附属設備66,814千円）

②　減損の兆候の概要

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しているため。

③　減損の認識に至らない根拠

現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。

⑷　大岡山宿舎ＣＦ

①　減損の兆候が認められた固定資産の概要

用途：職員宿舎

種類：建物及び建物附属設備

場所：東京都目黒区大岡山２―１

帳簿価額：775千円（建物０千円、建物附属設備775千円）

②　減損の兆候の概要

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しているため。

③　減損の認識に至らない根拠

現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。

⑸　藤が丘寮

①　減損の兆候が認められた固定資産の概要

用途：職員宿舎

種類：建物及び建物附属設備

場所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘２―41―21

帳簿価額：18,710千円（建物14,466千円、建物附属設備4,243千円）

②　減損の兆候の概要

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しているため。

③　減損の認識に至らない根拠

現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。

⑹　危険物倉庫９

①　減損を認識した固定資産の概要

用途：倉庫

種類：建物及び建物附属設備

場所：神奈川県横浜市緑区長津田町字馬ノ背4259―１

帳簿価額：802千円（建物０千円、建物附属設備802千円）

②　減損の認識に至った経緯

基幹・環境整備（外周道路）工事を実施するにあたり外周道路整備の配置上当該用地が支障建物となり、平成27年５月８日をもって廃止・取壊しの決定を行ったため。

③　減損額

損益計算書上に計上していない金額：802千円（建物附属設備802千円）

④　回収可能サービス価額

使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行っております。

⑺　南３号倉庫

①　減損を認識した固定資産の概要

用途：倉庫

種類：建物

場所：東京都目黒区大岡山２―１

帳簿価額：336千円（建物336千円）

②　減損の認識に至った経緯

当該建物を調査した結果、建築確認済証の取得が確認出来ず、東京都より取り壊しを行うよう指導されたことから、平成27年６月５日をもって廃止・取壊しの決定を行ったため。

③　減損額

損益計算書上に計上していない金額：336千円（建物336千円）

④　回収可能サービス価額

使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行っております。